

平成25年度

学校法人昌賢学園

事業報告書

学校法人昌賢学園

群馬医療福祉大学大学院

群馬医療福祉大学

群馬医療福祉大学短期大学部

群馬社会福祉専門学校

群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校

群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園

I. 法人の概要

1. 法人の名称 学校法人 昌賢学園
2. 事務所の所在地 群馬県前橋市元総社町 152番地
3. 設置する学校
 - ①群馬医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科
 - ②群馬医療福祉大学大学院 社会福祉学研究科
 - ③群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科
 - ④群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部・リハビリテーション学科
 - ⑤群馬医療福祉大学 短期大学部 介護福祉学科
 - ⑥群馬社会福祉専門学校 社会福祉専門課程
福祉保育学科 介護福祉専攻科
社会福祉士通信課程
 - ⑦群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校 医療福祉専門課程
理学療法学科 作業療法学科
 - ⑧群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園

4. 学生・園児等の数 (平成25年5月1日)

学部・学科名	入学定員	収容定員	学生・園児数
群馬医療福祉大学大学院 社会福祉学研究科	10名	20名	6名
群馬医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科	90名 編入10名	480名	478名
群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科	80名	320名	361名
群馬医療福祉大学・リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	60名	180名	135名
群馬医療福祉大学短期大学部 介護福祉学科	80名	160名	127名
群馬社会福祉専門学校社会福祉専門課程 福祉保育学科	130名 50名	180名 100名	146名 91名
介護福祉専攻科 社会福祉通信課程	80名 200名	80名 400名	55名 98名
群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校 理学療法学科・作業療法学科 (両学科共24年度募集停止)	0名	80名	94名
群馬社会福祉大学附属鈴蘭幼稚園	90名	280名	78名

5. 役員

理事	8人
監事	2人
評議員	19人

6. 教職員の状況

(平成25年5月1日)

	人員数
大学教員 (社会福祉学部)	39名
兼任講師	45名
大学教員 (看護学部)	23名
兼任講師	48名
大学教員 (リハビリテーション学部)	13名
兼任講師	13名
短期大学部教員	11名
兼任講師	11名
専門学校教員	12名
兼任講師	22名
リハビリ専門学校教員	1名
兼任講師	2名
幼稚園教員	10名
事務職員	36名

7. 土地及び建物の状況

① 土地の状況

(単位:m²)

部 門	法 人	群馬医療福祉大学	短期大学部	群馬社会福祉専門学校	附属鈴蘭幼稚園	合 計
校 地	1,847.12	18,451.00	15,360.39	2,413.44	3,621.01	41,692.96
合 計	1,847.12	18,451.00	15,360.39	2,413.44	3,621.01	41,692.96

② 建物の状況

(単位:m²)

部 門	法 人	群馬社会福祉大学	短期大学部	群馬社会福祉専門学校	附属鈴蘭幼稚園	合 計
校 舎	291.49	10,964.93	4,943.00	2,282.42	1,890.12	20,371.96
合 計	291.49	10,964.93	4,943.00	2,282.42	1,890.12	20,371.96

③ 土地建物借用状況

(単位:m²)

	法人	群馬医療福祉 大学	リハビリ学部・ 専門学校	看護学部	合計
校地				26,222.00	26,222.00
校舎			4,744.38	11,477.00	16,221.38
駐車場		4,699.28			4,699.28
合計		4,699.28	4,744.38	37,699.00	47,142.66

II. 部門事業報告

企画部門報告

1 まちなかキャンパス 前橋商工会議所連携事業 25 講座開催 述べ 532 名参加

群馬医療福祉大学は前橋商工会議所連携事業としてまちなかキャンパスを開催し、地域の方々を対象に、長年培ってきた教育と研究を土台に、地域のニーズに応えられる大学としてその役割を果たしたいと願っています。

少子高齢社会を迎え、地域の方々の「健康」への意識が高まり、予防医学や予防介護といった知識・技術が求められています。そのようなニーズに対応するため、本学が持っている知的財産を地域へ還元することを目的とし、地域の方々が気軽に参加できるような講座を開講いたしました。

2 論語の学堂 17 講座開催 述べ 274 名参加

本事業は本学の歴史及び建学の精神に基づき、平成 24 年 3 月から開始した事業である。本学の淵源は宝徳元年(1949)に遠祖長尾昌賢が学問所を開設したのに始まり、世世漢学の教授を以て地域教育に貢献しています。

古来、漢学と呼び習わされている学問の中心にあるのが四書・五経と総称される中国の古典であり、就中日本では古代より論語が重んじられてきました。そして本学は論語の「仁」を建学の精神とし、学生へ全人教育を行っています。福祉は特に人と人との関係構築が重視される分野であり、人間関係を築く上で最も大事なのが他者を己の如く感じる心、要するにそれが「仁」である。福祉と論語は決して無関係ではありません。この論語の精神、つまり「仁」を広く社会に還元するために、万を期して本年(平成 25 年)より通年講座として開始いたしました。

3 子育て講演会 ～子どもから学ぶ～ 参加者 510 名

中山秀征さん 子育て講演会

平成 25 年 1 月 16 日(土)時間 13:00~14:30

参加者 510 名



主な経歴

群馬県藤岡市出身。1985 年デビュー以来、バラエティー・ドラマなど幅広く活躍。軽妙なトークと、温かな人柄でお茶の間に魅了している。4 人の男の子のパパであり、育児に積極的に参加。2011 年には「育児を頑張り楽しみながら、イクメンの認知向上に寄与したパパ

として 「イクメンオブザイヤー2011」 で表彰されたほか2012年には、第30回 「ベスト・ファザーイエローリボン賞」(芸能部門)にも輝いた。 群馬観光大使としても活躍

少子化等による社会構造の変化に伴い、核家族化および地域社会の希薄化が進行するなかで、一人で子育てをしなければならない不安感や負担感を持つ親が増加しています。

そこで、子育て世代を対象に子どもの心の成長に合わせた関わり方などを学ぶ機会を提供するとともに、子育てに対する悩みを軽減することを目的に中山秀征さんをお招きいたしました。

4 公開講座 25年10月～11月予定 742名

本講座は、本学における教育・研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の福祉と医療の向上に資することを目的に実施いたします。25年度も大学院の社会福祉学研究科、大学の社会福祉学部、看護学部、リハビリテーション学部、短期大学部の介護福祉学科等の教員が講師として、講座を開設いたしました。



5 公開授業 7月20日(土)実施 162名参加 (前橋58名 看護77名 リハ27名)

学校法人昌賢学園(以下本学)で学んでいる学生たちは、それぞれの夢や目標に向かい、希望実現のために勉学に勤しんでおります。

そこで学生たちがどのような学習を行っているか実際の授業の参観と、さらには保護者の方に授業を体験していただき実体験を通じて本学の教育の実際をご理解いただく場とするとともに、本学の教育に対する希望などを拝聴する機会とし、本学の教育内容の充実・強化の一助にすることを目的として開催しました。

6 リハビリテーション研修会 平成25年12月7日(土) 参加者120名

場所 前橋さくらホテル

「スポーツにおける肩障害の診断と治療」

船橋整形外科病院 肩関節肘関節センター センター長 菅谷 啓之 先生

「日本のリハ医療の現状と課題」

医療法人社団 輝生会 理事長

回復期リハビリテーション病棟協会 常任理事 石川 誠 先生

12月7日(土)17時より、前橋さくらホテルにおいて、群馬医療福祉大学リハビリテーション学部研修会が開催されました。

演者には、講演1において、船橋整形外科病院 肩関節肘関節センター センター長 菅谷 啓之先生、講演2において、医療法人社団輝生会 理事長 回復期リハビリテーション病棟協会 常任理事 石川 誠先生をお招きいたしました。



7 高大連携事業 単位認定授業開講 8/7～8/9 12/24～12/25 21名参加

群馬医療福祉大学は、「地域に開かれた大学」を目指しており、その取り組みの一つとして地域の高等学校のとの連携を進めております。

高校時代に本学が実施する高大連携授業科目を履修することにより、社会福祉に関する内容を理解することができ、進路の選択に役立つこと、及び高校生活の充実、学習意欲の一層の向上に寄与することを目的として実施いたしました。

なお、この高大連携授業により習得した単位は、本学に入学した場合は本学で修得した単位として認定しております。



8 東公民館家庭教育学級連携事業 もっと！すくすくおやこスクール 25名参加

子育てについてのコツや困ったときの対処法について学ぶとともに、日ごろ思っていること悩んでいることなどについて情報交換し、親子ともに楽しく健やかな毎日を応援します！みんなで一緒に楽しく子育てしませんか？ 群馬医療福祉大学の先生方が講師として色々なことを実践しました。

期間 平成 25 年 12 月 5 日 (木)～1 月 28 日 (火)

時間 10 時～12 時

会場 前橋市 東公民館

参加者 未就園児をもつ保護者とその子



9 東公民館 高齢者教室 参加者 述べ 238 名

高齢者と地域のふれあいの輪を結び、お互い学びあうとともに、こころ豊かな生活（健康・仲間づくり等）づくりを目的に地区内在住の概ね 60 歳以上の方を対象に実施。健康増進と地区の交流や東地区老人クラブ連合会の事業（学習活動）として位置づけられています。本学介護福祉学科の教員が講師として講座を担当いたしました。

7 月 11 日 (木)

介護福祉学科 講師 小林康子

「やさしさのシャワー・3A方式 認知症予防ゲームでいきいきと暮らす」

参加者 208 名

9 月 6 日 (木)

介護福祉学科 教授 関口喜久代

「寝たきりを防ぐ介助のコツ！」

参加者 30 名



10 認知症の予防と介護方法のヒント 自分らしく生きる～認知症を通して～ 参加者 120 名

今の日本は、5人に1人が65歳以上の高齢者といわれています。「健康で元気に生活したい！」と思いますが、“介

護”はある日突然、あなたの家にやってきます。

ここ数年、認知症の人が増え、マスコミ等でも取り上げられるようになりました。住まう地域でより長く、そして自分らしく生活するためには周りの方のサポートが必要です。ここでは認知症の予防や認知症を持つ方に対する介護方法のヒントを、事例を交えて作業療法の視点からお伝えいたしました。

日 時 平成26年3月25日(火)
13時受付開始 13時30分～15時00分

講 師 高坂 駿 片桐幸司

参加者 120名

11 群馬県老人福祉施設協議会中毛ブロック・群馬医療福祉大学短期大学部 連携事業

平成25年度老人福祉施設中堅介護職員現任研修

1. 日程

7月6日(土)、8月3日(土)、8月24日(土)、9月7日(土)、9月21日(土) 【合計5日間】

2. 開講時間

講義・演習時間 13:00～16:30

3. カリキュラムのねらい

本研修のカリキュラムは、施設で介護等職員として就業する、30～40代の中堅職員を対象に実施。次期の指導的職務を担う人材として、求められる介護的・リーダー的職能を養う学習を目指し、カリキュラムの内容は、基本的知識・技術を養うことから、演習系科目を多く取り入れて、議論、意見集約などを用いて「教育および指導力の養成」をねらいとして実施いたしました。

12 第20回 関東甲信越ブロック研修会 介護福祉士会

平成25年10月20日(日)に「第20回関東甲信越ブロック研修会IN 群馬」が、本学にて開催されました。

今回の研修会は「介護福祉士と介護福祉士養成校の学生で創る関ブロ」ということをテーマとし、本学 介護福祉学科 120名の学生がボランティアスタッフとして、会場の飾り付けや当日のおもてなしを行いました。会場に入っただけで感じる手作りの飾り付けに、学生の頃の「想い」が蘇るような感覚や、一生懸命おもてなしをする直向きさに心打たれたと、各都県から来られた参加者や来賓の皆様は、学生の心のこもった飾りつけや、温かいおもてなしに感動していただきました。



13 平成 25 年度「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」プログラム 採択

平成 25 年度より新たに開始され、文部科学省・日本私立学校振興・共済事業団の共同で実施された事業です。

事業の目的は「大学力」の向上のため、大学教育の質的転換や、特色を発揮して地域の発展を重層的に支える大学づくり、産業界と国内外の大学等と連携した教育研究など、私立大学等が組織的・体系的に取り組む大学改革の基盤充実を図るため、経常費・設備費・施設費を一体的に重点的に支援することです。

本学では各学部が立地するそれぞれの地域での生涯学習や子育て支援等の取組の充実と強化を図るため映像遠隔システムの整備により、他学部で実施される講座をその他の学部へライブ配信を行ったり、録画した講義をオンデマンド配信したりと本事業を通じて ICT 化を進めていきます。



教務部門報告

①平成 26 年 3 月 31 日 看護学部完成年度を終了

今後、カリキュラムや人事など多岐に渡って自主的な運営が可能となる。この 4 年間の教務運営面の反省を踏まえ、社会の動向を把握しニーズに対応できる開設科目の見直しを進める。

②平成 25 年 12 月 2 日 リハビリテーション学部設置計画履行状況調査「面接調査」

文部科学省において、面接調査を受ける。調査の結果、学位授与方針(ディプロマポリシー)の明確化と、基礎教養科目の充実を求める留意事項が付される。いずれも 25 年 2 月の文部科学省報告時まで完了。リハビリテーション学部は平成 27 年度に完成年度を迎える予定。

③平成 26 年 3 月 短期大学部介護福祉学科学則変更(教育課程)

介護福祉士養成課程の改正に伴い、26 年 4 月より教育課程に医療的ケア(喀痰吸引等)を含むための変更。同時に予定されていた介護福祉士養成校卒業生の国家試験化(平成 26 年度入学生より対象となる予定だった)は、1 年延期されることとなった。

④平成 26 年 3 月 専門学校福祉保育学科学則変更(教育課程)

平成 26 年度入学生から、学校法人弘徳学園近畿大学豊岡短大通信教育部との教育連携により、今までの保育士資格に加え、幼稚園教諭 2 種免許および社会福祉主事任用資格を取得できるようにカリキュラムを変更。

⑤平成 26 年 3 月 創造学園大学からの編入生卒業

平成 25 年 4 月に文部科学省からの依頼もあり、臨時的な特別措置により 4 年次編入生として受け入れていた 3 名の学生が卒業。いずれも就職し、うち一人は社会福祉士国家試験を受験し合格。

入試広報部門報告

- ①高校訪問
- ②進学ガイダンス参加
- ③高等学校教諭対象説明会
- ④オープンキャンパス開催
- ⑤ホームページ
- ⑥WEB 媒体
- ⑦進路情報誌の掲載
- ⑧出前授業
- ⑨新聞広告(主に上毛新聞)
- ⑩FM GUNMA

大学(社会福祉学部、看護学部、リハビリテーション学部)・短期大学部の募集活動では一定の志願者を確保することができたが、学部により一部定員に達しないところもあった。短期大学部では介護福祉士国家試験制度へ移行することから、志願者・入学者ともに減少となった。大学においては、定員を上回る志願者・入学者を確保することができた。大学学部として今後は安定的に推移すると思われる。全入時代を向かえ、経営が難しくなる学校法人がますます増えるだろう。昌賢学園では学校の特色、他校にない魅力を如何に打ち出していけるかが大きな課題である。そのためにも昌賢学園の全教職員が一丸となって、様々な問題に対し企画検討し、それを実行、実現する努力をしていくことが必要であると痛感する。

平成 25 年度オープンキャンパス参加者数

	25 年度	前年対比	前年度
前橋キャンパス 社会福祉学部 短期大学部	577 名	▲30	607 名
藤岡キャンパス 看護学部	509 名	+25	484 名
リハビリ専門学校	404 名	+3	401 名
社会福祉専門学校	246 名	+41	205 名
合 計	1736 名	+39	1697 名

入学者状況 (平成 26 年 4 月入学者数)

	定員	平成 26 年 4 月	前年対比	前年度
大学 社会福祉専攻	50 名	49 名	▲3	52 名
大学 子ども専攻	40 名	46 名	+1	45 名
大学 看護学科	80 名	94 名	+4	90 名

大学 理学療法専攻	35名	41名	±0±0	41名
作業療法専攻	25名	28名		28名
短大 介護福祉学科	80名	38名	▲34	72名
リハビリ専門学校 理学療法学科	(40名)	—	—	—
リハビリ専門学校 作業療法学科	(40名)	—	—	—
専門学校 福祉保育学科	50名	49名	+9	91名
介護福祉専攻科	50名	51名		
合計	360名	396名	▲23名	419名

就職部門報告

◇学生一人ひとりの希望する先への就職ができるように、『就職指導』を授業として開講し、きめ細かな就職支援・求人資料を豊富にそろえ、実践的なアドバイスも交えるとともに現場での即戦力になるためのサポートを実施しています。

インターンシップの一貫として『ボランティア活動』を取り入れ福祉施設等でのボランティア活動に積極的に取り組むことを進めることで進路・就職に対する動機付け、就職後のミスマッチを防いでいます。

また、学生のキャリア向上及び就職指導の一環として行う支援講座・研修は、変化する社会情勢の中でも十分な就職活動が行えるようバックアップ体制を敷いており、資格取得対策に関しては学生を支援する資格取得講座を数多く開講しています。この資格取得講座の受講者、各種資格試験の合格者は年を重ねる毎に増加しており、公務員（公立保育園を含む）に現役生が合格するとともに、教員採用試験の合格者も数多く出ています。

◇社会福祉学部、短期大学部、群馬社会福祉専門学校、リハビリ専門学校、の就職状況は、就職希望者に対し100%となっています。

- ・社会福祉学部社会福祉専攻の就職場所は、老人関係施設40%、障がい者(児)施設20%、病院10%、福祉関連機関団体(社会福祉協議会・社会福祉事業団)6%、教員5%、一般企業19%

- ・社会福祉学部こども専攻の就職場所は、保育園や幼稚園29%、障がい者(児)施設10%、福祉関連機関団体(社会福祉協議会・社会福祉事業団)2%、老人福祉施設1%、一般企業2%、小学校教諭1%

- ・看護学部の就職場所は、病院99%、一般1%

- ・群馬社会福祉専門学校の就職場所は、老人関係施設68%、障がい者(児)施設

12%、福祉関連機関団体(社会福祉協議会・社会福祉事業団)2%、児童18%

・リハビリ専門学校理学療法学科の就職場所は、病院78%、老人保健施設16%、一般企業6%

・リハビリ専門学校作業療法学科の就職場所は、病院93%、老人保健施設7%

Ⅲ. 財務の概要

○施設整備の主な整備状況

大学

教育研究備品	15,611,976円	サーバー・パソコン映像遠隔システム
その他の機器備品	541,800円	コンピューター付属装置
図書	2,134,435円	
車両	3,385,470円	乗用車(取替)

短期大学

教育研究備品	2,318,557円	サーバー・パソコン一式
その他の機器備品	88,200円	コンピューター付属装置
図書	567,381円	

看護学部

教育研究備品	963,533円	映像遠隔システム
図書	1,677,275円	

専門学校

建物(付属設備)	2,400,000円	教室事務室空調設備
教育研究備品	6,063,657円	パソコンプロジェクター医療ケア備品
図書	92,852円	

リハビリ学部・専門学校

教育研究備品	3,006,834円	パソコン一式・映像遠隔システム
その他の機器備品	559,000円	コンピューター付属装置・会議用テーブル
図書	1,533,132円	

幼稚園

建物(付属設備)	974,400円	電気設備工事
教育研究備品	798,000円	遊具・パソコン一式

法人

土地	1,327,431,120円	前橋市元総社町 1,847.12 m ²
建物	11,071,395円	鉄骨平屋建 291.49 m ²
構築物	1,200,000円	植栽一式

○財務概要

公認会計士と監事の監査報告並びに・資金収支の状況（経年推移）・消費収支の状況（経年推移）・貸借対照表（経年推移）・財務比率（経年推移）は別掲の通りである。

平成25年度の財務概要としては看護学部が完成年度を終了した。開設年度より施設設備整備状況は大学全体で全面的に完備されてきているが今年度は全部門におけるコンピューター設備の取替えを始め設備の見直しを図り、全体的に各所修繕並びに設備・備品の補充を実施した。学生数においては社会福祉学部・看護学部は入学定員を的確に確保することができており、開学2年目のリハビリ学部も定員確保が十分に見込まれる。

また、主たる経常収入としての学生生徒等納付金はリハビリ学部が2年目、看護学部が4年目となり前年度に引き増加し、着実に推移している。経常経費依存率も数年平均的にほぼ90%台で推移しており、学生生徒に対する教育的還元は行き届いていると思われる。学部増設等が続いたことから繰越消費収支超過額は数年続いていたが、今年度で大幅に改善された。資金的にも外部借入金等は完済となり健全な財政運営を継続できる傾向である。次年度も財務状況は良好に維持し、大学法人としての教育研究目的を達成するために必要な財政基盤をしっかりと確保し、継続的に収支バランスのとれた運営を目指して行く方針である。